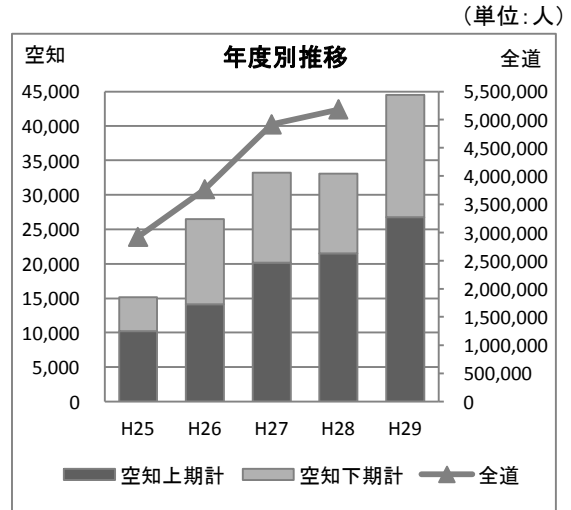


平成29年度空知管内における訪日外国人宿泊者数調査結果の概要

平成30年 6月25日
空知総合振興局商工労働観光課

1. 概要

平成29年度の空知管内における訪日外国人宿泊者数(実数)は、44,501人となり、平成28年度の33,099人から11,402人(34.4%)の増加となった。



(単位:人)

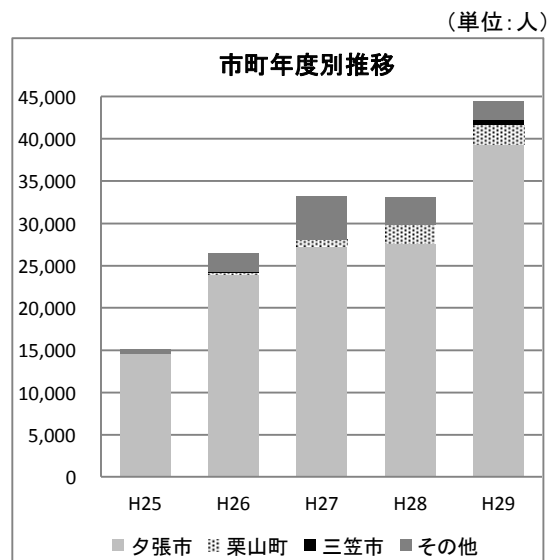
年度	H25	H26	H27	H28	H29	対前年度増減
空知管内計	15,163	26,505	33,233	33,099	44,501	11,402
上期計	10,240	14,116	20,165	21,510	26,776	5,266
下期計	4,923	12,389	13,068	11,589	17,725	6,136
全道計	2,920,129	3,765,767	4,916,573	5,182,933		

※H29全道分は集計中

2. 市町別

管内24市町で外国人が宿泊した市町は、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、南幌町、由仁町、栗山町、月形町、新十津川町、雨竜町、沼田町の9市7町、計16市町となっている。

また、夕張市が全体の88.5%と、管内外国人宿泊者の大多数を占めている。



(単位:人)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
管内計	15,163	26,505	33,233	33,099	44,501
上位3市町					
夕張市	14,551	23,967	27,247	27,617	39,395
栗山町	11	268	822	2,220	2,201
三笠市	0	25	23	74	668

3. 国別

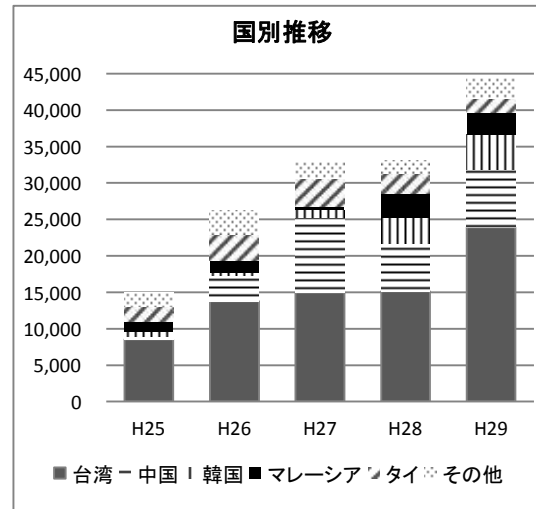
国別で見ると、台湾が23,878人と最も多く、全体の53.7%を占めている。

次いで中国が7,980人、韓国が4,847人、マレーシア3,050人、タイ1,850人となっている。

前年度と比べると、台湾、中国、韓国は増加した一方、マレーシアやタイは減少した。

地域別では、アジア地域が全体の98.1%と、管内外国人宿泊者のほとんどを占めている。

(単位:人)



(単位:人)

	H25	H26	H27	H28	H29	構成比
台湾	8,510	13,771	14,957	15,115	23,878	53.7%
中国	372	3,564	10,268	6,549	7,980	17.9%
韓国	665	363	1,030	3,515	4,847	10.9%
マレーシア	1,469	1,695	590	3,374	3,050	6.9%
タイ	2,078	3,589	3,695	2,803	1,850	4.2%
上記以外のアジア	1,782	3,266	2,381	1,155	2,072	4.7%
アジア計	14,876	26,248	32,921	32,511	43,677	98.1%
北米	42	50	49	114	157	1.9%
欧州	17	27	42	69	69	
オーストラリア	25	6	45	39	34	
その他	203	174	176	366	564	
空知管内計	15,163	26,505	33,233	33,099	44,501	

4. 月別

平成29年度の管内宿泊施設を利用する外国人観光客は7月が8,496人と最も多く、全体の19.1%を占めている。

(単位:人)

